

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(**金森建設株式会社**)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・若手社員、女性社員の採用には、差別の無いように雇用体制の整備をしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントに関する講習会へ積極的に参加する。 職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・完全週休2日制を実施し、年間の労働時間の削減を行っている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・現在、外国人労働者の雇用は無いが、雇用時には、差別や人権侵害の問題が生じないような環境の整備に努める。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・社内安全衛生委員会を設置し、月ごとに安全作業に関する目標を掲げ、全社員が目標実施に向け取り組んでいる。						3		8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・年一回、カウンセリングシートを用い全従業員のストレスチェックを実施している。						3											
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・定年後の再雇用制度の整備をしている。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・若手社員の雇用を増やし、スキルアップの為に資格取得の支援体制を整え、取得意欲の向上の促進に向け取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			【予定】 ・男女、国籍等の要素にかかわらず、同一の労働に従事する従業員は、賃金が同一の水準になるよう制度の整備を行う。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・健康管理を行っている。(人間ドッグ受診制度) 健康経営優良法人の取得に向け、取り組んで行く。						3		8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の管理は、現場ごとにまとめ、manifestoで処分状況を管理している。										11.6	12.4		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・本社、営業所での、化石燃料の使用量、電気の使用料を把握し、削減に努めている。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・現場で使用する機械は、排出ガス対策型機械、ハイブリット型機械の導入を進めている。								7.2 7.3			12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、適切な使用に取り組み、使用料の管理をし削減に努めている。				3.9		6.3				11.6	12.4						

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・工事現場付近の生態系を調査し、工事による悪影響を及ぼさないよう対策を講じ、環境保全に配慮している。						6.6															15				
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・工事現場で発生した建設端材を有効利用し、廃棄物の抑制と社会全体のコスト削減に努める。													12.5		14.1										
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	・上水道の効率的使用、節水の呼びかけ 使用量の削減計画の策定						6.4 6.6																			
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・エコアクションの取得に向け準備を始めた。 令和7年度中の取得を目指している。								3.9		6	7				12	13.3	14	15							
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	・環境への取り組みをHPで公開していく。 令和7年4月より公開予定														12.6											
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・工事現場でソーラーパネルを活用し、そこでの 電源の一部として利用していく。										7.2							13								
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・環境配慮型商品の利用を推進し、現場で発生 する支障木などは有効利用(薪など)する取り組み をしている。															12.2	13	14	15							
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職、贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、 社内浸透を図っている。																						16	16.5		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修 を実施している。																							16		
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・自社独自工法による特許等の知的財産権の取得 を目指している。														8.2 8.3	9										
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・「個人情報に対する基本方針」を策定し、社内研修など を行い情報管理ルールを周知徹底している。																								16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・確認して把握し取り扱わないようにしている。																								16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系 への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防 止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・協力会社との対話を促進し、法令厳守など相互の 価値観等の認識を深めながら事業に取り組み、全て の取引において反社会的勢力の排除をする。									5			8			10		12	13	14	15	16	17			
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表してい る	基本			・2025年4月迄の作成・公表を目指す。															3			8	9	10					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定